

1号埋設施設 7・8群の状況

1号埋設施設 7・8群は、2021年7月に事業変更許可をいただき、工事を進めてきました。

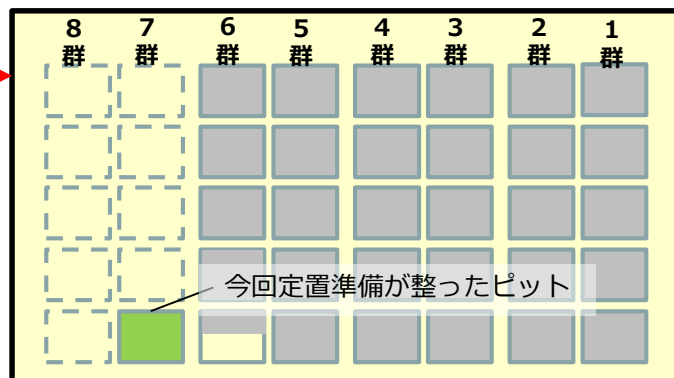
2022年12月に7群を構成するピット※5基のうち1基の工事が完了し、2023年3月22日に原子力規制委員会から廃棄物埋設確認証をいただき、廃棄体を定置する準備が整ったことから、4月以降、定置していきます。7群の残り4基のピットと8群についても、現在鋭意工事を進めているところです。

これまで35社、延べ2万人の方々に工事に携わっていただきました。地元企業をはじめ多くの皆さまにご協力いただき、心より感謝を申し上げます。

※ピット：廃棄体を定置するコンクリート製の躯体



埋設施設の全景(2022年9月時点)

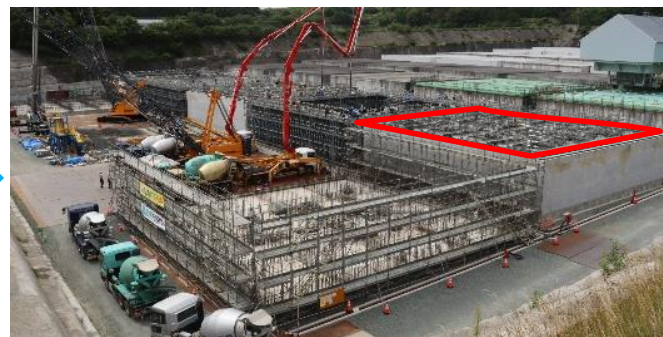


1号埋設施設の配置図(灰色部分は定置済み)

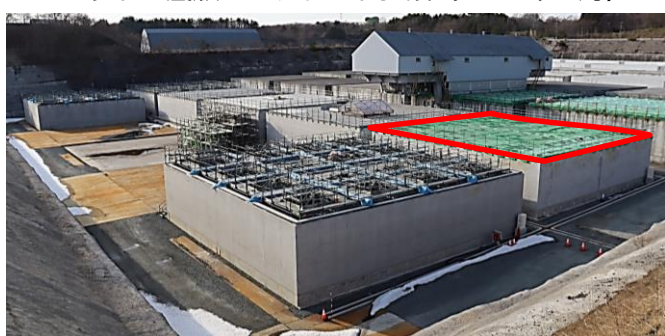
<1号埋設施設 7・8群の建設工事の進捗>



ピットの底版コンクリート打設(2021年9月)



ピットの側壁コンクリート打設(2022年8月)



7群1ピットの完成(2023年3月)



廃棄体定置のイメージ

<1号埋設施設 7・8群の特徴>

7・8群の特徴は、1号埋設施設では初めて充填固化体も埋設できることです。これにより、充填固化体、均質・均一固化体ともに、適切に受け入れ容量を確保することができ、より一層の安定操業に寄与します。

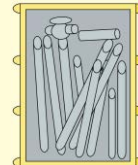
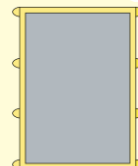
7・8群全体で、約51,000本の廃棄体を定置することができ、2023年度は約6,500本の充填固化体を7群に受け入れる予定です。

均質・均一固化体

濃縮廃液、使用済樹脂、焼却灰などをセメント、アスファルト、プラスチックを用いて固形化したもの。

充填固化体

金属類、プラスチック、フィルター等の固体状廃棄物を必要に応じて切断、圧縮、溶融処理等してドラム缶に収納した後、セメント系充填剤で固形化したもの。



地域の皆さまにご安心いただけるよう、引き続き、安全を最優先に事業を進めてまいります。